

京都産業大学 むすびわざプロジェクト in あやべ

経済学部 寺崎ゼミナール3年生

『綾部市の魅力を伝えるPR動画の作成と発信』

- 指導責任者:京都産業大学経済学部教授 寺崎友芳
 - 連携市町村:綾部市
 - 京都府内の活動地域:京都市及び綾部市
- 取り組んだ課題と成果

今年度は、綾部市の魅力を伝える2本の動画を作成して発信するとともに、視聴解析を行うことで今後への示唆を探りました。

1. 綾部市の観光名所の紹介動画の作成と発信

【取り組んだ課題】

先行研究によると、旅行の行き先を検討する際の情報源を2019年と2022年で比較すると、雑誌やチラシの影響力が小さくなり、Youtubeなど動画共有サイトの影響力が大きくなっていることが分かっています。こうした動向を踏まえて、綾部市の知名度の向上、入込客数の増加にYoutubeに綾部市の魅力を伝える動画を投稿し、視聴動向を解析することが有効だと考えました。

そこで、8月と10月に綾部市で現地視察を行い、綾部市内の観光名所を回り、アトラクションやイベントは実際に体験して動画を撮影しました。11月に撮影した動画にマッチしたBGMの選定、キャプションの追加などの編集作業を行い、12月にYoutubeに投稿しました。

【動画の紹介】



紹介動画(1分 40 秒)



【成果と課題】

動画を公開してからの12日間の視聴回数は123回。インプレッション(サムネイルの表示、計 710 回)からの視聴回数は55回でインプレッションと再生回数は平行に増加していることからインプレッション数が重要だと分かりました。インプレッション数を上げるには、クリック率と平均再生時間の増加が重要なので、インパクトのあるサムネイル、飽きさせない内容にすることが課題だと分かりました。

【実施者の思い】

「地域住民の方と交流をしながらの活動は貴重な機会です。今回の活動をきっかけにたくさんの方に綾部市の魅力が伝えられたら嬉しいです」「調べれば調べるほど綾部市という街の魅力を知ることができました」「綾部市を訪れ、自然の豊かさや人の温かさに触れることができました」

2. 綾部の食の魅力伝える食育を目的とした地域食堂の開催と動画発信

【取り組んだ課題】

10月29日に綾部市里山交流研修センターにて近隣住民を招いて地域食堂を開催しました。近隣の小学生・保護者32名が参加し、学生とともに綾部市産の米、米粉、粟を使用した栗ご飯と米粉パンケーキを調理して試食しました。また、その様子を動画で撮影、編集し、Youtubeに投稿して綾部の食材についてPRしました。

【動画の紹介】



紹介動画(40 秒)



【成果と課題】

地域食堂についてはアンケート回答者のうち 94%が「家でも作りたい」と回答しており、食育の効果はあったと考えられます。動画については、12日間で視聴回数は135回で平均視聴時間は26秒でした。ショートフィード(おすすめ)からのアクセスが47%だったので、視聴者からの評価を上げる工夫次第で視聴回数が稼げることが分かりました。

【実施者の思い】

「子供たちに綾部の魅力を発見してもらえたことと肌で感じることができました」「何度か綾部市に行ったことがありましたが、今回のFWを通じて自然に囲まれた綾部の魅力を再発見することができました」「地域食堂を通じて地域住民の暖かさや食材の魅力を知ることができました」

京都産業大学 おすびわざプロジェクト in あやべ

京都産業大学 経営学部 松本和明ゼミ

綾部市域の活性化に向けて 京都産業大学経営学部・松本ゼミナール

☆課題

京都府綾部市域の地域資源を活かした活性化策を考察する

☆成果と課題

綾部市役所をはじめ、綾部市図書館および同市が発祥の地である
グンゼ株式会社の記念館・博物苑の調査・ヒアリングを実施でき、活性化提案をおこなうことができた
今後は、同市内の企業や団体等のリサーチを重ね、より精緻な活性化策を検討する必要がある

☆「気づき」

綾部市域での地域振興に向けての取り組みは、ベンチマークに値する

綾部市の田園都市としての活性化策

松本ゼミナール2年 戸來優汰

☆綾部市の特筆すべきストロング・ポイント☆

- ・図書館や資料館が市を知ってもらうことに協力的であり、市について学ぶ環境が整えられている
↳地域愛をはぐくむことができる
↳将来的に若者のUターンの可能性が大 ⇒未来に繋がる
- ・交通の要所として栄えることがしやすい地形
↳輸送が必要な産業においては輸送がしやすいため発展しやすい ⇒雇用の確保
- ・市で活躍している産業があるため、市内での企業の扱い方を知ってる可能性がある
↳企業誘致をした場合に失敗をしにくいかもしれない ⇒地域活性化
- ・企業誘致に取り組んだ結果、府営及び市営の工業団地は全区画で操業している
↳雇用の創出と、家族ぐるみでの転勤によって人口減少社会への対応ができる ⇒地域活性化
- ・綾部駅の近くに重要施設が集まっている
↳ここに来たら物がそろうという安心感 ⇒市民の安全・安心な暮らし

職住近接型の都市として綾部市の活性化案

- ・移住場所として最適であることのアピール
 - 移住立国プロジェクトの促進
 - 不動産賃貸料の立て替えなどの政策
 - 綾部市の3つの教育の力の入れ方をアピールする
- ・今まで以上に企業の誘致を行う
 - ものづくり企業誘致をはじめとした工業団地・企業誘致の促進
 - 企業の誘致でやってきた人の囲い込みを行える政策
- ・地域共生社会の実現
 - 地域愛を育てるイベントの開催
 - 地域の住民同士での交流の場を設ける

綾部市の活性化策を考える

松本ゼミナール2年 伊藤壮基

- ・グンゼ株式会社（綾部で創業、128年）
 - 地元根付いた企業
 - 地元への愛が感じられる **企業×地域** が可能
 - 関連企業が地域へ
- ・伝統技術「黒谷和紙」
 - 長い伝統と歴史
 - 丈夫で長持ち
 - 紙系への加工 } 唯一無二の特徴

現状と課題、そして提言

☆近代産業と伝統産業が併存：新たなコラボレーションの可能性

☆魅力的な新図書館

子どもたちへの読み聞かせが盛ん、子どもとおし、親とおしの交流密
⇒「ウェルビーイング」の貴重な場

☆情報発信には課題

SNSで行事が紹介されているが、その発信はどこまで届いているのか？

☆提言：古民家を新たなコミュニティーの場に！

高齢者の多い地域に、子どもたちの一時保育が出来るような場の設定

⇒高齢者と若い親世代との交流が生まれ、孤独感を払拭、市民意識が高揚